

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network Now

2021 No.549

9 / 1

JART情報
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



2021年度 第2回理事会 開催される (Web併催)



2021年7月10日(土)午後1時30分より、本会事務所(Web併催)で2021年度第2回理事会が開催された。会長あいさつに続き、定数確認、議事録作成人の指名(後藤太作総務委員)、第1回理事会議事録の確認がなされ、審議事項に入った。

初めに「告示研修について」として、ファシリテーター講習会の概要および今後のスケジュールなどについて見玉副会長より説明がなされた。以降、「愛媛県元会員の退会取消ならびに会費終身免除の継続について」「編集・出版業務の外部委託について」「払込票の発行について」「生殖腺(性腺)防護に対する国際的な動向への本会の対応検討について」「社会活動表彰(江間賞)・学術表彰(学術奨励賞)について」「会誌目次案・Network Now台割案について」「入会者・退会者の承認について」といった議題が審議され、いずれも承認された。

報告事項は多岐にわたって行われ、(1)会長・業務執行理事報告(2)会員動向報告(3)月次決算報告(4)復興庁の正しい放射線知識普及事業への協力について(5)国への告示

研修必要経費予算要望について(6)第1回放射線診療4団体連絡協議会について(7)告示研修ポスター印刷(B2サイズを想定)発送先・発送方法について(8)編集委員会報告(9)広報委員会報告(10)会員情報システム委員会報告(11)調査委員会報告(12)医療被ばく安全管理委員会(医療被ばく低減施設認定更新報告)(13)学術教育委員会報告(14)放射線機器管理士分科会報告(15)国際委員会報告(16)診療報酬政策立案委員会報告(17)医療安全対策委員会報告(18)災害対策委員会報告(19)入会促進委員会報告(20)人材育成委員会報告(21)臨床実習指導教育委員会(臨床実習施設登録報告)(22)統一講習会実施運営委員会報告(23)業務改善推進委員会報告(24)医の倫理審査委員会報告(25)J-J協力体制推進特別委員会会議報告(26)国際認定資格委員会報告(27)第37回日本診療放射線技師学術大会について(28)外部団体への役員派遣について(29)地域理事報告——などであった。今後のスケジュールを確認し、閉会した。詳細は、本会会誌9月号掲載の第2回理事会議事録(抄)を参照されたい。



上田会長と日本臨床衛生検査技師会 宮島喜文会長との対談 行われる

2021年8月6日(金)、本会上田会長と一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 宮島喜文会長との対談が日本臨床衛生検査技師会事務局で行われた。宮島会長は現職の参議院議員でもある。本対談は日本臨床衛生検査技師会会報 (JAMTマガジン) への掲載希望を受けて開催が実現した。

日本臨床衛生検査技師会から深澤専務理事、日本診療放射線技師会からは江端理事、上島局長が対談に同席した。

開催に当たって、司会の深澤専務理事より進行について説明があり、まずは上田会長の自己紹介から対談が始まった。上田会長はあいさつの冒頭、対談当日が原爆の日(広島平和記念日)に当たり、被爆者への追悼と放射線の安全利用について、今後、さらに取り組んでいく必要性を強く感じていると発言され、自己紹介へと進んだ。

続いて宮島会長からも「原爆の日」を迎えるに当たり、原爆死没者のご冥福と、核兵器の廃絶ならびに世界の恒久平和の実現を祈念する旨のあいさつが述べられた。

司会より、対談の初めのテーマとして告示研修が提起された。医師以外の関係職種で可能な限り業務分担が図られるとされ、診療放射線技師には5つの行為、臨床検査技師には8つの行為が令和3(2021)年5月28日公布、令和3年10月1日施行とされることから、それぞれの取り組みの状況と進捗具合^{しんちよく}について発言、意見交換が求められた。

上田会長からは、放射線診療における医師・看護師の協力は必須であるが、今回の告示研修における業務拡大は重要であり、医師・看護師を待たないと施行することができないような造影検査などのスループット向上は、患者さんにとっても恩恵のあるワークフローになると考えていることを話された。造影検査における静脈路確保は決して易しい技術ではないが、今回の業務拡大を「求められる業務拡大」と述べ、これは「期待される業務拡大」とも言い換えることができるので、“期待されることで社会的な役割も大きくなる”ことを会員に理解いただきたいと考えていることも強調して述べられた。



その後、話題は生涯教育、新型コロナウイルス感染症対策・対応についても及び、広く意見交換がなされた。

日本臨床衛生検査技師会からは、生涯教育制度と広く一般への職名の告知、職業啓発にも注力していることが説明された。

本会からは、都道府県(診療)放射線技師会においてレントゲン週間を開催し、一般市民に医療放射線検査・治療について広報する機会があることが紹介された。各養成校においても、放射線部門を扱った『ラジエーションハウス』の影響もあってオープンキャンパスへの来場が増えていることや、各養成校で独自に高校への出張講義を実施していることなども話された。

宮島会長から、新型コロナウイルス感染症対応では臨床検査技師にワクチン接種が違法性の阻却を条件として認められたことから、講習会を開催し多くの講習修了者が実際に接種に当たっていることの紹介がされた。

上田会長自身も大学の集団ワクチン接種会場において接種後状態観察業務に当たっており、社会貢献の必要性・重要性を体感していると発言された。

今後お互いに協力関係を強化し情報共有を図るとともに、立法府へのさまざまな要請についても深く協力態勢を取っていきたいとの意見の一致を見た。

話題は当初予定のテーマから派生して非常に多岐にわたり、率直な議論・意見交換がなされた。両会長は宮島会長が参議院議員でもあり、哇元議員共々すでに国会での陳情や相談・意見交換などで複数回の対面経験があることから、対談は非常に和やかな雰囲気の中行われ、予定を超えて2時間超に及んだ。また最後には宮島会長の趣味である登山の話もされ、白馬の山々の写真を見せていただきながら対談は終了となった。

なお、本対談の詳細は、本会会誌にも掲載を予定している。



義務研修

あなたの 診療放射線技師免許 アップデート が必要です!!

新たな業務をつかみ撮れ。



© 横幕智裕・モリタイン/集英社
「ラジエーションハウス」集英社 グランドジャンプにて連載中

医師の働き方改革を推進するため、医師から診療放射線技師への
タスク・シフティングにより診療放射線技師の業務が拡大されます。

あなたの診療放射線技師免許アップデートが必要です!!

画像検査のプロ集団として、国民のために診療放射線技師籍登録者全員が
受講しなければならない告示研修会（義務研修）が開催されます。



詳しくは JART 特設サイトへGo !

URL http://www.jart.jp/activity/kokujikousyuu_2021.html

環境省 新規プロジェクト キックオフミーティング 開催される —ぐるプロジェクト—

環境省は2021年7月15日(木)午後2時より、東京都千代田区で放射線の健康影響に関する新規プロジェクトのキックオフミーティングを開催した。

第1部では、小泉進次郎環境大臣から本プロジェクトの概要説明の中で、新規プロジェクト名とロゴマークの発表があった。プロジェクト名は、放射線の健康影響に関して、「学び、知をつむ②」「人、町、組織をつな③」「自分ごととしてつたわ④」の最終の3文字をとって「ぐるプロジェクト」と名付けられ、学ぶことから始め、そこから身近な人と意見を交換し、得た情報を自分事として伝えていくとの内容であった。

第2部では、福島県立医科大学医学部放射線健康管理学講座の坪倉正治教授を講師として、小泉進次郎大臣、『ラジエーションハウス』監修者の五月女康作氏、複数の大学の学生が受講生となり、東日本大震災に伴う原発事故によって関心が高まっている放射線の健康影響に関する公開講座が実施された。

本プロジェクトの目標は、「放射線の被ばくは遺伝的影響がある」と誤解する都民が約40%、福島県内でも36%いるというデータに対し、2025年までに20%へ引き下げ、原発事故以降減らない福島県民に対する誤解や偏見を取り除き、正しい知識を広げていくこととしている。「ぐるプロジェクト」の事業として、①知る(論文を科学的に読み解く)、



②学ぶ(ラジエーションカレッジ)、③決める(情報提供と意思決定)、④聴く(不安や疑問によりそう)、⑤調べる(ぐるプロジェクト公式ホームページ)——の5つの柱が挙げられ、今後、展開していくことになる。本会も、診療放射線技師の職能団体として放射線被ばく相談員認定者を輩出していることから、特に「④聴く」では、本プロジェクトに協力していくこととなるだろう。

ぜひ、下記URLより当日の様子をご覧ください。

■ 第1部 小泉進次郎大臣プレゼンテーション(約7分)

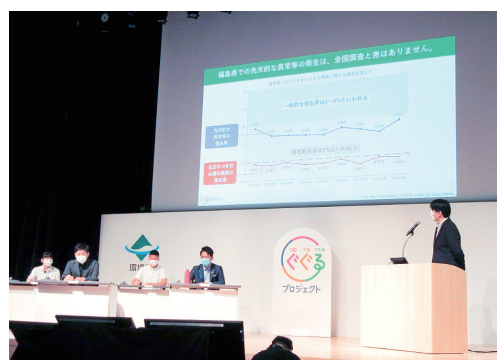
<https://youtu.be/hNNhdwV4uoY>

■ 第2部 公開講座(約40分)

<https://youtu.be/DtYIiOBSxLM>

ぐるプロジェクトの詳細は、環境省の以下の公式ホームページをご確認ください。

<https://www.env.go.jp/chemi/rhm/portal/communicate/>



診療放射線技師基礎技術講習「血管造影検査」 開催される (Web併催)

2021年7月11日(日)、愛媛大学医学部附属病院で診療放射線技師基礎技術講習「血管造影検査」(IVR)を受講者18人で開催した。新型コロナウイルスの感染状況は比較的落ち着いた中での開催ではあったが、ガイドラインに沿って手指消毒、マスクの着用、換気など皆さんにご協力いただき、対面での講義が6コマ、リモートでの講義が1コマでの開催となった。

講師は、猪狩恭平先生(キヤノンメディカルシステムズ株式会社)、井川裕史先生(HITO病院)、宇都宮真一先生(愛媛県立中央病院)、久保将太郎先生(愛媛県立新居浜病院)、渡部幸仁先生(松山赤十字病院)、神野仁寿先生(愛媛大学医学部附属病院)にお願いした。それぞれの専門分野で血管造影に必要な基礎知識はもちろん、臨床で役立つTipsも織り交ぜての講義を頂いた。本講習会は、これまでの知識を整理し、現場で得られた情報をより深く理解するのに役立つものになった。また今回、講師をお願いしていた水谷宏先生が



急逝されたため、最後の講義としてご準備されていたスライド原稿をお借りし、渡部幸仁先生と教育委員の羽藤寛文先生(松山赤十字病院)に講義をお願いした。さまざまな機会に被ばくに関する講演など大変お世話になった水谷先生のご冥福を心からお祈りし、開催の報告と致します。

診療放射線技師のための フレッシューズセミナー 開催報告

埼玉県 (Web開催)

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 総務 常務理事 今出 克利

毎年5月に開催をしていた「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、埼玉県内にまん延防止等重点措置が実施され、会場集客型による開催が困難となり、昨年に引き続きe-ラーニング方式によるオンデマンド配信での開催となりました。動画視聴期間は、2021年6月14日(月)から7月16日(金)までの1カ月間として、受講生の生活様式の変化に対応し、自分のペースで好きな時間に動画視聴することが可能となることで、メモを取ったり、何度も見返すことができるようになり、非常に好評でした。

埼玉県で開催したプログラムは以下の通りです。

- 会長あいさつ、技師会について
田中 宏 (埼玉県診療放射線技師会会長)
- 社会人としてのエチケット・マナー講座
中根 淳 (埼玉医科大学総合医療センター)
- 患者さんに優しい診療放射線技師
大河原 侑司 (さいたま赤十字病院)

- 医療安全講座 金野 元樹 (上尾中央総合病院)
- 感染対策講座 茂木 雅和 (上尾中央総合病院)
- 実際の検査について～消化器～
浅見 純一 (行田中央総合病院)
- 実際の検査について～CT・肺～
荻野 奈規 (済生会川口総合病院)
- 実際の検査について～MRI～
滝田 裕一 (埼玉医科大学病院)
- 実際の検査について～一般撮影～
高橋 忍 (埼玉医科大学病院)
- 気管支解剖講座
富田 博信 (済生会川口総合病院)
- 被ばく低減
宮崎 千晶 (埼玉医科大学国際医療センター)
- 入会案内

来年度は会場集客型のface to faceによる開催を願っておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点や社会情勢を鑑みて、会場集客型とオンライン配信

を同時に行うハイブリッド型や、e-ラーニング方式による開催も視野に入れながら準備を進めてまいります。最後になりますが、講師の皆さまには日々の臨床業務

が大変な状況であるにもかかわらず、講義動画を録画していただくなど尽力を頂きまして、この場をお借りして感謝申し上げます。

山梨県 (Web開催)

一般社団法人山梨県診療放射線技師会 会長 宮崎 旨俊

2021年7月3日(土)にフレッシューズセミナーを開催しました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催を断念したのですが、本年度はWebを活用し開催することになりました。免許取得後1~2年の診療放射線技師を対象として、本年度は10人のフレッシューズの参加がありました。会員数が約200人の山梨県としましては、例年よりも少し多い人数といえます。4人の担当講師が同一会場に参集し、プログラムに沿って順次講義を行うオンラインセミナーの形式を採用しました。内容は「入会案内」「エチケット・マナー」「感染対策」「医療安全」「被ばく低減」でした。例年、最終講義として山梨県オリジナル企画「患者移乗テクニック」という理学療法士による実習を設定しているのですが、本年度は新型コロナウイルスの感染を配慮して中止としました。

山梨県では、2004年度から独自に「新人研修」を行ってきました。その理由と致しましては二つありました。一つは、接遇や医療安全などの新人研修を開催していない施設が比較的多かったこと、もう一つは、新人技師同士が職場の垣根を越えて横のつながりを持つ機会が少なかったことでした。フレッシューズセミナーは、この二つの課題を改善する良い機会となっています。「患者移乗



テクニック」による実習は直接親睦を深める良い企画であっただけに、新型コロナウイルス感染症の影響によって企画できなかったことは残念でなりません。しかし、来年度に向けて議論を重ね、より良いものにしていきたいと考えています。

静岡県 (Web併催)

公益社団法人静岡県放射線技師会 生涯教育委員 曾我 隆正

静岡県放射線技師会では2021年7月4日(日)、会場+Webのハイブリッド形式でフレッシューズセミナーを開催しました。参加者は会場4人、Web22人の計26人でした。昨年度は開催できなかったため、卒後1年目と2年目を対象に募集をしました。もちろん日本診療放射線技師会の会場型講習会開催ガイドラインに基づいて感染防止に努め、最善の注意を払い開催しました。

まずは日本診療放射線技師会 上田会長による受講者

に向けたメッセージ動画を配信しました。「入会案内」は当県山本英雄会長より説明がなされました。その後、「エチケット・マナー」「医療コミュニケーション」を七尾光広会員、「医療安全」を畑中貴台会員、「感染対策」を大川剛史会員、「被ばく低減」を天野守計会員らが講師となって4時間みっちり講義を行いました。

本セミナーは、フレッシューズが他施設の方々とコミュニケーションを取れる場を提供したいとの思いで会場型にこだわって開催を計画していました。しかし、このコロナ禍の状況では開催計画が厳しく、反対意見もある中でのハイブリッド型での開催となりました。また会場とWebの環境の違いにより会場の雰囲気、受講生の反応は読み取りづらく、特に、Webでは雰囲気が伝わってこないため終始不安ではありました。しかし、大きなトラブルもなく開催できました。まだまだ課題はありますが、今後も皆さまに興味を持っていただき、魅力ある内容で開催できるよう努力していきます。

最後に、受講者およびセミナー開催にご尽力いただきました講師の皆さまに、心より感謝申し上げます。



長野県 (Web開催)

一般社団法人長野県診療放射線技師会

2021年7月10日(土)、Webを利用し、リアルタイム受講と期間中に視聴するオンデマンド受講を組み合わせた6科目の講義を軸にフレッシューズセミナーを開催し、県内の新人技師25人が受講しました。講義後は引き続きWeb懇親会を実施し、自己紹介に始まり趣味のこと、撮影技術についての悩み、フレッシューズならではの初任給の使い方などを話題に交流ができ、あっという間に時間が過ぎました。

長野県診療放射線技師会ではフレッシューズセミナー開催に当たり、同世代の技師のつながりを大切にしてほしいとの思いから、交流を深める機会をつくることも目的の一つにあります。オンラインで初対面という環境で、お互いに戸惑いや緊張を感じる雰囲気ではありましたが、開催後は新人同士で顔合わせができて良かった、参

加して良かったなどの声を聞くことができました。

自然豊かで広域な長野県は、北信・南信・東信・中信の4地域があり、それぞれに県技師会の支部があります。平常時でも県内各地域から1カ所に集まることはなかなか容易ではなく、Web利用は大変有意義であると感じた反面、参加者全員が打ち解け、参加者同士がスムーズに会話することは難しく、聞いているだけ見ているだけの人がいないように工夫が必要だと課題を残しました。やはり、直接お会いできる会場参加型で開催できるような生活に戻れる日が待ち遠しいです。

最後に、Web開催に不慣れで円滑な運営とはなりませんでしたでしたが、開催に当たりご協力いただいた方々、参加された皆さまに感謝申し上げます。

千葉県 (Web開催)

一般社団法人千葉県診療放射線技師会 副会長 佐瀬 真由美
(エチケット・マナー担当講師)

2021年7月11日(日)、「2021年度診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」をWeb配信で開催し41人の参加があった。昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のためセミナーを中止としたが、本年度はWeb配信として開催した。Web開催のため参加数の上限が拡大し、遠方からの参加者もあり、講師は会場までの往復の移動時間が削減できた。

講義内容は例年と同様に、「エチケット・マナー」「医療コミュニケーション」「感染対策」「被ばく低減」「医療安全」「気管支解剖」「入会案内」と新人技師には盛りだくさんの内容であるが、さらに本年度はウイルス感染拡大のためか感染対策・医療安全が延長され、朝9時から夕方までハードなスケジュールであった。

これまでの会場型と異なり、Web配信では受講者の反応を体感できないため講義が一方向的で単調となりやすい。また受講者側も“見られている意識”がないので緊張感がなく、一日中講義に集中するのはなかなか難しいと感じた。例年、昼食後の講義「気管支の解剖」中に行っていた『気管支体操』など、参加者および講師・スタッフが直接コミュニケーションする機会が少なくなったのは少々物足りなく感じた。他に、可能であれば他県でも試行しているオンデマンドの形式を取り入れてもいいのではと考えた。新人技師がこのセミナーを受講してどのように感じたのか、技師会に対して求めていることや改善してほしいことは何であるか？新型コロナウイルス感染症を通じて過渡期であることを印象付けられた。

岡山県 (Web開催)

公益社団法人岡山県診療放射線技師会 教育委員長 木下 琢実

岡山県診療放射線技師会では2021年7月11日(日)、フレッシューズセミナーを開催しました。昨年はコロナ禍のため中止になりましたが、本年度はWebで開催することができました。本来なら直接新人技師と会話をし、社会人として、診療放射線技師としての一歩について講演したかったのが本音ですが、開催できただけでも新人技師の方へ役立つ内容だったと思います。21人の方に参加いただき、科目は「医療コミュニケーション」「医療人のエチケットマナー・電子メールのマナー」「新人のための医療安全講座」「感染対策講座」「被ばく低減講座」「フレッシューズへのメッセージ」の6科目を講演いただきました。お昼から長時間での講演のため、モニター上では伝わりにくかったこともありましたが、講師の皆さまには、簡単に分かりやすく丁寧に講演してい

ただくことができました。講師の皆さまにはお忙しい中、講演していただき感謝申し上げます。来年はハイブリッドでの開催ができるようにしたいと思います。



大分県 (Web開催)

公益社団法人大分県放射線技師会 会長 吉田 幸人

2021年7月17日(土)、ウェビナーによる2021年度フレッシュャーズセミナーを開催した。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、前年度の開催を見送ったかたちとなったため、今回は2年ぶりに、また昨年度入職者も対象に含めての合同開催とした。セミナーは日本診療放射線技師会(JART)の方針に沿った合計8講座、4時間30分でプログラムし、本会理事・役員・委員が講師となって自施設の取り組みも含めた内容で進めた。21人の参加者は長時間にもかかわらず最後までご視聴いただいた。関係各位に感謝申し上げたい。

新入職者が各所属施設の人材育成プランに基づいた研修や業務トレーニングを受けている期間は、どうしても視線が内側に向いてしまう傾向にあると思われる。本セミナーは、県内の新人診療放射線技師にとって視野を広げる、そして2年目の方には自身の振り返り、といった観点でいい機会になったのではないかと自負している。告示研修の内容もタイムリーに伝えることができ、今回のセミナー受講者から多くの新入会員が生まれることを



期待してやまない。

「鉄は熱いうちに」。自らの志を持って新しく入職した診療放射線技師に、本セミナーを通じてJART、そして本会からメッセージを直接届けることができる機会は大変貴重である。受講者にとっていつまでも印象に残るセミナーであり続けることを目指して、今後も取り組んでいきたい。

滋賀県

公益社団法人滋賀県診療放射線技師会 会長 古山 忠宏

コロナ禍で2020年度はフレッシュャーズセミナーの開催を断念しましたが、2021年度は、新型コロナウイルス感染症の第4波が落ち着きそうなところを見極め、理事会で開催時期・方法などを検討してきました。そして平田常務理事(教育委員)が中心となり、2年ぶりの2021年7月18日(日)に、守山市のライズヴィル都賀山において、会場参加型で開催しました。新型コロナウイルス感染症が全国でまん延する中、150人収容の広い会場を準備して3密を避け、参加者の手指消毒・マスク着用などを徹底し、感染対策には十分配慮して実施しました。2020年度が開催できなかったこともあり、2020年度の入職者も含め県内各施設から31人のフレッシュャーズの参加がありました。

2021年度から新たに指定講座として加わった「被ばく低減」「医療コミュニケーション」の講座を含め、「エチケット・マナー」「医療安全」「診療放射線技師会の入会案内」「感染対策」「気管支解剖」の7つの講座を設け、午前9時20分からのオリエンテーションに始まり、途中、昼休憩を挟み午後4時50分の閉講式まで、多岐にわたる内容で7時間30分に及ぶセミナーとなりました。

受講者にとっては、長時間でつらいセミナーとなったかもしれませんが、受講後のアンケート(回収率58%)では、全ての講座において83%以上が「良かった」「期待通り良かった」の回答でした。「エチケット・マナー」



「医療安全」「気管支解剖」の講座では、全ての受講者から「良かった」「期待通り良かった」の回答が得られました。また「来年もこのようなセミナーが開催されたら、後輩に参加を勧めますか」の問いに対して、89%が「勧める」との回答で、「勧めない」の回答はありませんでした。

このアンケート回答結果は毎回同様の傾向であり、フレッシュャーズセミナーは、受講者にとっても有意義で価値あるセミナーであると考えています。引き続き日本診療放射線技師会と連携し、今後もフレッシュャーズセミナーの開催に向け取り組んでいきたいと考えています。

青森県 (Web開催)

公益社団法人青森県診療放射線技師会 会長 船水 憲一
(つがる西北五広域連合 つがる総合病院)

青森県でも毎年恒例で開催しているフレッシューズセミナーですが、新型コロナウイルス感染症を鑑みて、本年度も引き続きインターネット配信によるオンデマンド研修と致しました。開催配信は2021年7月19日(月)から25日(日)までの1週間で、県内各地より13人の方が参加されました。

当県では、プレゼンテーションに音声を含めてYouTubeでの動画配信とし、申込者に対して視聴可能なURLをお知らせして、好きな時間に視聴していただくように致しました。コンテンツを制作した担当者は、自分の担当したYouTubeの再生回数が気になり、ついつい確認してしまうということもあるようです。再生回数は

唯一の参加者とのつながりかもしれません。配信内容は「会長あいさつ」「エチケット・マナー」「医療安全」「医療コミュニケーション」「技師会の紹介と入会案内」「感染対策」「被ばく低減に関して」「医用デジタル画像の取り扱いについて」「病気の理解(脳・神経) 救急撮影に必要な知識」「実際の検査について(一般撮影)」「実際の検査について(CT)」「実際の検査について(MRI)」の12項目です。会長あいさつは、若い方々にはあまり関心を持たれないものと思っていましたが、意外に見ていただき、うれしい気分となりました。来年度こそは、対面できることを期待したいと思います。

第74回 北海道放射線技師会 学術講演会 開催報告 (Web開催)

一般社団法人北海道放射線技師会 常務理事
瀬野尾 勤子 (北海道対がん協会)

北海道放射線技師会は、新型コロナウイルス感染症の拡大により昨年度は残念ながら中止となった「第74回一般社団法人北海道放射線技師会学術講演会」を2021年6月12日(土)に開催致しました。感染再拡大により北海道に緊急事態宣言が発出されている期間中であったことから会場参集はかなわず、Webによる開催となりましたが、広大な北海道ですので、札幌まで片道数時間かかる遠方の会員からはWeb開催が多くなったことで講演会や研修会に参加がしやすくなったという声もあり、当日は93人の方に参加いただきました。

医療法施行規則、電離放射線障害防止規則、放射性同位元素等の規制に関する法律施行規則の改正に伴い、被ばく線量レポートをはじめとする医療被ばく情報管理シ



ステムについてのメーカー講演が3題、帝京大学医療技術学部 東村享治先生による放射線部門の医療安全についての講演、また北海道内の4施設から、どのような準備・対応をしているかの講演が4題という内容でした。

その後、日本診療放射線技師会 児玉副会長より、告示研修の内容やカリキュラムについて詳細にご説明いただき、ライブ配信でしたので参加者からの質問にもお答えいただきました。告示研修は義務講習であることを周知していくこと、業務拡大による統一講習会未受講の人に受講を勧奨することの重要性を改めて感じました。

最後に、日本診療放射線技師会 上田会長に「これからの診療放射線技師会のあるべき姿」と題して、特別講演をしていただきました。2024年4月の改正労働基準法の施行に向けて、われわれ診療放射線技師がアップデートする必要性、他職種との連携などについてお話しいただきました。大変貴重な機会でしたので、多くの方に視聴していただき、有意義な学術講演会であったと思います。



第7回 福岡県診療放射線技師会 学術大会 開催報告 (Web併催)

公益社団法人福岡県診療放射線技師会 副会長
第7回福岡県診療放射線技師会学術大会 実行委員長
塩谷 正貴

2021年6月26日(土)・27日(日)の2日間、第7回福岡県診療放射線技師会学術大会が、大会テーマを「SELF INNOVATION～あなたの知識、臨床で活かせてますか?～」として、中村泰彦大会長の下、北九州国際会議場で開催されました。

昨年の第6回学術大会は、新型コロナウイルスの感染拡大が日常生活に影響を及ぼし始めた時期と重なり、通常開催を前提に準備を進めてきたところを、急きょWebによるCyPos形式に変更することで何とか開催にこぎ着けました。しかし、予定されていた特別講演やシンポジウムは行うことができず、準備をお願いしていた演者の先生やシンポジストの方々には、大変ご迷惑をお掛けする結果となりました。

本年度も変異株の出現など感染の流行が収まる気配はなく、福岡県にも緊急事態宣言が発出されるなど、大人数が参加する学術大会の開催には不安要素が多かったのですが、会場スタッフのご協力と、この1年でわれわれが身に付けた感染対策や自己防衛の手法を徹底することで、現地開催を軸としたWeb配信併用のハイブリッド形式の大会として開催することが決定しました。



現地参加者はほとんどが福岡県内の会員であり、多くの演者さんに現地でご発表いただきましたが、職場の方針などによって現地参加がかなわなかった一般研究発表の演者さんには、音声付きスライドでのご発表を、同じく現地参加できなかったシンポジストの皆さんには、Webによる双方向通信で討論にもご参加いただくことで、大会企画を充実したものにすることができました。

会場での感染対策の実際としては、実行委員・参加者ともマスク着用を徹底していただき、受付前にアクリルついたと大人数用の同時検温装置を、各会場の入り口には1人用の検温装置と手指消毒液を設置しました。会場内の席は互い違いに配置してソーシャルディスタンスを十分に確保し、ハンズオンセミナーは広々としたイベントホールでの開催としました。さらに実行委員の皆さんには、大会前後2週間の検温と体調管理をお願いして万全を期しました。

第7回学術大会は事前参加登録 281人、当日参加登録 40人、計321人に加え、JART 上田克彦会長、畦元将吾衆議院議員にもご参加いただき、盛会のうちに終えることができました。自宅や職場での視聴～参加を可能にしたハイブリッド形式は、その高い利便性が会員の皆さんに広く受け入れられたといえますし、After CORONAにおいても開催方式の主流になるのではないかと強く感じた次第です。

開催が危ぶまれた東京2020オリンピックが中日を迎え、6都府県に緊急事態宣言が発出される中、本稿を書いています。一日も早く感染拡大が終息し、皆さまが日常を取り戻せることを祈念しています。



INFORMATION



第37回 日本診療放射線技師学術大会
 第23回 アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会 (23rd AACRT)
 第28回 東アジア学術交流大会 (28th EACRT)



第10回 **東京への道** Go To TOKYO



城西支部 (第3地区) 平瀬 繁男
 (公益社団法人東京都診療放射線技師会)

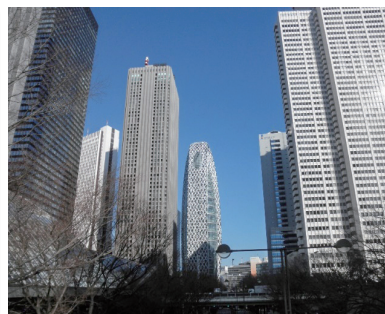


「東京オアシス」

今回は、私が担当する城西支部を紹介したいと思う。城西支部は新宿区・豊島区・板橋区・中野区・杉並区・練馬区の6区からなる。江戸城（皇居）を中心として西側にある地域である。その城西支部には、1日平均利用者数が約268万人（世界第2位）の池袋駅と、1日平均乗降者数が約353万人（世界第1位）（ギネス世界記録認定2017年）の新宿駅があり、駅周辺の昼夜の人口増減が特に著しい。また新宿駅西口に位置する西新宿は都庁を有し、東京でも有数のオフィス街であり、超高層ビルが林立している。歓楽街として有名な歌舞伎町も新宿駅東口に位置している。新宿駅南部には新宿御苑や明治神宮外苑があり緑が豊富である。今回は、そのオフィス街や繁華街とは違う新宿を案内したい。

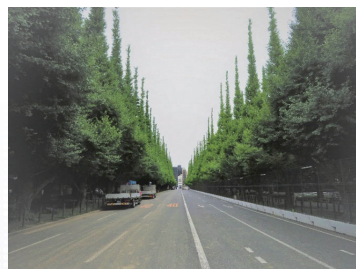


新宿都庁



西新宿オフィス街

半蔵門線の青山一丁目駅から、イチヨウ並木に向かい明治神宮を抜けて新宿御苑、そして新宿駅まで歩いてみた。



イチヨウ並木

イチヨウ並木入り口には、神宮外苑造営の由来が記された“明治神宮外苑之記”の石碑が建立されている。左側にはおしゃれな店が立ち並んでいる。学術大会が行われる秋には、紅葉を見ながらテラス席で食事を取るのもいいと思う。この外苑には、御観兵衛ごかんべいゑのみ・憲法記念館（明治記念館）そんぽうきんねん・葬場殿趾みたま・御鷹の松・国立競技場・建国記念文庫などがあり、散策するには気持ちが良い。また秩父宮ラグビー場や明治神宮野球場もあり、私が散策をした時にはヤクルト対巨人戦が行われており大きな拍手が外まで漏れていた。外苑を抜けJR線のガードをくぐると新宿御苑が見える。新宿御苑の入園券500円を購入して千駄ヶ谷門から新宿門まで歩いてみた。



明治神宮外苑之記

新宿御苑は、徳川家康の家臣・内藤清成が賜った大名屋敷がルーツといわれている。後に宮内庁の御料地を経て、皇室庭園として使われていた。広さは58.3ha、周囲3.5kmの園内に、ヨーロッパ式の風景式庭園と整形式庭園、日本庭園を巧みに組み合わせた特色あふれる様式の庭園が楽しめる。鳥のさえずりを聞いたりきれいな草花などを見ることで、新宿であることを忘れさせてくれる都会のオアシスである。新宿門を抜けると、ゆっくりとした足音から自然に足早になり現実に戻らされてしまった。ゆったりとした時間を過ごしたい時にはぜひ立ち寄ってほしい名所である。ここから15分ほどで新宿駅である。他にも、城西地区には「おばあちゃん原宿」として知られる巢鴨や、若者の街・中野などもある。学術大会の時にはどのように変化しているのだろうか？ マスクを外してまだまだ知らない東京のオアシスを散策したいと思う。



新宿御苑

レッツアップデート!



待ちに待った診療放射線技師法改正の告示研修が開始されました。私がイケイケでCT検査を担当していた頃は、まだヘリカルCTができる前です。1秒1回転の900Sで、ほぼ全症例に対しサーフロー針を用い秒1~4mlで造影していたのは、今では当たり前ですが、当時としては画期的だったと思います。静脈確保のため医師や看護師と一緒に血管を探すのも楽しかった思い出です。そんな20代後半の知る人ぞ知る血管フェチの私だったら、きっと小躍りして喜んでいると思います。

今回の業務拡大で、診療放射線技師が血管を確保し、造影剤を注入できるようになります。けれど、喜んでばかりもいきません。血管確保は、血管漏出などのリスクもあり、造影剤の

副作用に対しても今まで以上の安全に対する対応が必要になります。告示研修などで個人としてのスキルアップはもちろんですが、職場での安全確保や業務手順書の準備が必要です。医師の指示に基づくとはいえ診療放射線技師が単独で検査を行い完結させる場合は、放射線科だけではなく施設内での職種を超えた安全への連携体制構築や業務フローなど、実施するまでにはたくさんのハードルがあると思います。そのハードルをクリアし、タスク・シフトを成功させて信頼を得ることが、まさに医療人としてアップデートしていくことなのだと思います。さあ～皆さん、準備はいいですか？

(文責：藤井雅代)

診療放射線技師のための フレッシューズセミナーのお知らせ

プログラムは、エチケット・マナー・医療安全・感染対策・気管支解剖・胸部撮影基礎（都道府県により違いあり）など、現場ですぐ役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と開催方法については変更される可能性がありますので、詳細は、都道府県技師会までお問い合わせください。

■フレッシューズセミナー開催予定:

愛媛	9月4日(土)	Web開催	熊本	9月11日(土)	会場
奈良	9月18日(土)~26日(日)	Web開催	島根	9月19日(日)	会場

9月・10月の講習会などスケジュールのご案内

■告示研修(基礎研修):	Web開催	7月31日(土)から	※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
■医療画像情報精度管理士セミナー:	Web開催	10月8日(金)	
■放射線取扱主任者定期講習:	東京	10月15日(金)	
■第49回日本放射線技術学会秋季学術大会 JSRT-JART合同企画			
生殖腺(性腺)防護について考える:	熊本	10月15日(金)	
■Master's eye seminar:	Web同時配信	10月21日(木)	
■放射線被ばく相談員フォローアップセミナー:	Web開催	10月24日(日)	

※新型コロナウイルスの感染状況により、開催中止または開催方法が変更になる場合があります。

ホームページ閲覧のお願い

「業務拡大に伴う統一講習会」および「診療放射線技師基礎技術講習」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/2021_schedule.html
- 「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/ibOrgt0000007170.html

事務所 案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。